

2018年9月9日（日）

主 題：「どこにいたのですか？」

—近くにおられるお方—

テキスト：ヨハネ福音書11章17～27節（25節）

はじめに

- ・私はこんな話を聞いたことがあります。
それはアメリカ、カナダのことですが、” Living Needs” という生命保険があるそうです。この生命保険はユニークなのです。
- ・一般的に、生命保険は死後に支払われるものですね。しかし、人が必要とするのは、生前ではないかという観点から、保険金が生前支払われるという生命保険です。
- ・詳細は不明ですが、医師が余命6ヶ月以内と診断された場合ですが、この“Living Needs”という保険金は、その一部を支払うという制度だそうです。ある意味で、とても良いですね。考えて見ると、死後に生命保険が支払われても、本人の手元には入りません。自分にお金が必要なのは、生前であります。生きている時にこそ、お金は必要なものです。
- ・しかしながら、普通の生命保険は、生前必要な時には入手できないものです。
- ・聖書にも、そのようなストーリーがあります。
それはベタニアヤという村のラザロでした。彼は死んで4日も経過し、墓に葬られていました。多くのユダヤ人が、遺族であるマリアとマルタを慰めるため来ていました。
- ・そこにイエスが来られたのでした。彼女はこう言いました。
11:21 マルタはイエスに向かって言った。「主よ。もしここにいてくださったなら、私の兄弟は死ななかつたでしょうに。」
11:22 今でも私は知っております。あなたが神にお求めになることは何でも、神はあなたにお与えになります。」
- ・マルタは、イエスが病を癒すことができる方であることを知っていました。
イエスがおられたら、ラザロは死ななかつたのに、と思いました。つまりイエスに来ていただくことが遅かったという意味です。イエスは必要な時に、来てくださらなかったということです。
- ・しかしイエスは、その悲しみに中であつたマルタに次のように言いました。
11:23 イエスは彼女に言われた。「あなたの兄弟はよみがえります。」
11:25 イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。」
11:26 また、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことはありません。このことを信じますか。」
- ・この後、死んでいたラザロは生き返りました。

- * 私たちも人生において、必要な時に、必要な助けがない！　と思うことがないでしょうか。イエスは真の助け手です。
- ・イエスは、ここでイエスを信じる者に三つの約束をされました。

大切なポイント

1. わたしはよみがえりです。(復活)

11:25 イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。

- ・ここに、死に打ち勝つ人生があります。イエス・キリストを見てください。今から約2000年前、イエスはイスラエルのベツレヘムで誕生しました。およそ30歳になった頃、イエスは公生涯の宣教活動を開始されました。約3年あまり、イエスは神から遣われたメシア（救い主）である、数多くの「しるし」と「わざ」を行われました。
- ・しかし、それが当時のユダヤ社会指導者には困った存在でした。彼らはイエスに殺意を抱きました。結果、イエスを捕えて、裁判にかけ、そして十字架にかけて殺してしまいました。しかしイエスは3日間、墓の中で眠り、復活されました。それは生前言われたように、死に勝利をおさめられました。

11:25 イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。

- ・死を打ち破ることができる方は、神だけです。イエスは、ご自身が神であることを宣言され、そして示されました。

2. わたしはいのちです。(希望)

11:25 イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。

- ・人の生命には、必ず終わりがきます。しかし身体は終わっても、人の魂は生きるのです。人が真に生きるのは、実は朽ちない「いのち」によります。

3. わたしを信じるものは生きる(願望)

11:25 イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。

『例 話』

- ・1858年8月、中国で長年キリスト教医療宣教をしていたパーカー博士は、英国へ帰国しました。その病院の働きを継承したのが、あの有名なハドソン・テーラー医師(宣教師)でした。後のChina Inland Mission(現在 OMF)という世界で最も大きな宣教団体のひとつとなりました。
- ・ハドソン・テーラー医師は、中国人と同じ服装をして、同じ食物を食べ、同じ生活をし

ました。文字通り中国の人となりました。そして病院で一緒に生活をしました。しばらくすると、病院の経営資金が底をつくという試練に会いました。病院関係者は資金のために、神に熱心に助けを求め祈りました。ところが、どこからもお金は入ってきませんでした。

- それから、患者たちがこの事態を知るようになりました。ある朝、病院の食事係が「最後のコメ袋を今日開けました」と、テーラー医師に報告してきました。
- その時、テーラー医師は「今こそ、私たちを助ける神の時が来たのです。」と、大胆にも、しかも喜びをもって言ったそうです。確かに、そのコメ袋の中身が終わらない内に、英国から1通の手紙が届きました。開いてみると、中に50ポンドの小切手が入っていました。それはお米を買うのに十分な金額であったそうです。
- 皆さん！これは実話です。いかがでしょうか？
 - ① あなたは「もうお米がない！」と叫ぶ人でしょうか。
 - ② 「私たちを助ける神の時が来たのです！」と言う人でしょうか。イエスはあなたに“Living Needs”を与えられるお方です。

- 聖書の神は、遠くにおられる方ではありません。

11:25 イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。」
- マルタはイエスに、「どこにいたのですか」と思いました。イエスの答えは

11:25 イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。」

ま と め

主 題：「どこにいたのですか？」
—近くにおられるお方—

- 今日、私たちは「メモリアル・ワーシップ」を迎えています。
一足先に召された故人覚え、心静めて偲んでいます。ラザロが召されて4日も過ぎてから、信頼していたイエスがやってきました。
- その時、マルタはこう言いました。

1:21 マルタはイエスに向かって言った。「主よ。もしここにいてくださったなら、私の兄弟は死ななかつたでしょうに。」

11:22 今でも私は知っております。あなたが神にお求めになることは何でも、神はあなたにお与えになります。」
- イエスは、このマルタの言葉に対して次のように言われました。

11:25 イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。」
- イエスは死人を生き返らされたように、ご自身復活されました。

同じように、今も幸いな約束を与えてくださっています。イエスは3つの約束をお与えくださいました。

- いかがでしょうか。私たちはイエスのことばを信じ受けいれられるでしょうか。

*God bless you!